

北地区

芸術の秋、実りの秋

10月29日(日)から11月3日(金)までの5日間、フェスティバル・イン・かほく2006がビッグバンで開催されました。期間中は、地区内の各種団体による手芸や写真などの作品展示、芸能発表が行われました。

最終日の11月3日には、かほく産業まつり、芸能音楽祭、音楽大会が行われ、小春日和の穏やかな天候のもと、会場内はたくさんの人で賑わいました。

中でも今年の音楽大会は、メディアショップ屋外ステージに舞台を組んでの初の試みとなりました。訪れた人々は、近年目にする機会の少なくなつた神楽の舞に、すっかり目を奪われていました。

また辺りが暗くなつてからは、かがり火を焚き、舞台には昼間では味わえない幽玄の世界が広がっていました。



勝地区

「おまつり」愛顧に感謝して

10月29日(日)、B&G海洋センターにおいて、第23回おがつ商工祭、が開催されました。

訪れた人たちは、汗ばむほどの陽気の中、お米などが当たる抽選会や、雄勝小学校6年生による「南中ソーラン」など、色々な催しを楽しみました。



▲金の玉 金の玉・・・



▲ミニSL試乗会。ちゃんと蒸気も出ます!!

南地区

かなんの一大イベント かなん市民まつり

11月3日(金)、遊楽館を会場に、かなん市民まつり実行委員会主催の第16回かなん市民まつりが開催されました。

当日は、農業部門、商い・ものづくり部門、ひと・文化・交流部門、旭山ウォーキング大会などのイベント部門とそれぞれのコーナーに大勢の人々が集まっていました。



親子で「こども」子育ての和

10月29日(日)、かなん子育てサークル主催、授産施設かなんなど6団体が協賛の「こどもフェスティバル」が開催されました。

当日行われたフェスティバルは3回目を数え、今年も多くの親子が訪れサークルコーナーやフリーマーケットなどで楽しんでいました。



生地区

見事な踊りに拍手喝采

東北地方の股旅演芸の芸達者が集結し、第8回股旅演芸東北大会が、10月29日(日)、石巻市桃生総合センターで開催されました。

これは、河南桃生商工会、石巻市、IBC東北放送が主催したものです。東北各県から一般の部に38組が、子ども部門に3組が出場しました。

出演者は、堂々とした立ち振る舞いで、練習の成果を十分に発揮し、訪れた約2,400人の股旅ファンを魅了しました。会場は、すばらしい踊りに対する拍手と声援であふれていました。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

北地上区

秋晴れの中で どきどきまつり

大盛況

10月22日(日)、第9回「どきどきまつり」が、にっこりサンパークを会場に開催されました。開会セレモニーとして可愛い保育所園児による踊りが披露されたあと、にぎやかに餅まきが行われました。ステージでは文化協会による芸能祭や特別ゲストの歌手の成田理恵さんの芸能ショーなどが行われました。

会場には、ちびっこ広場コーナーのミニ新幹線や、地場産品の即売コーナー、毎年恒例のバーベキューなどが家族連れに人気を呼んで、秋晴れの1日を楽しんでいました。

また、北上公民館ホールでは、趣味の教室の受講生の作品展や愛好家が丹精込めて育てた山野草や盆栽も展示されました。



鹿地

緑の網地島

10月28日(土)・29日(日)、網地島の松くい虫被害の実態や森林保護の重要性を知ってもらおうと平成18年度地域産業振興事業「緑の網地島・植樹大作戦」(主催：宮城県石巻地方振興事務所)が行なわれました。

県内各地から約40人の参加者が集まり、網地島浪入田地区に抵抗性クマツの苗木500本を植樹しました。



ちびっこ消防士

11月10日(金)・14日(火)、牡鹿第一・第二保育所の幼年消防クラブ防火広報パレードが実施されました。

秋の火災予防運動の一環として、ちびっこ消防士たちが拍子木を打ちながら、火の用心のテーマソングに合せて行進しました。

▼ 牡鹿第一保育所



▲ 牡鹿第二保育所

巻石区

身体障害者が スポーツで交流

スポーツで交流

10月31日(火)、総合体育館を会場に「石巻市身体障害者スポーツ交流会」が開催されました。旧1市6町の身体障害者福祉協会が合併し、旧市・町の各支部相互の交流とスポーツを通じて日常生活を健康で豊かにすることを目的に実施されました。

この日は約150人が参加し、ビッグスフーンプレーンレースやボールころがしなど6つの競技が行なわれ、参加者は各競技に真剣に取り組みながら、交流も忘れず、楽しい一日を過ごしていました。

なお、優勝は桃生支部でした。



文化の日 無料開放

11月3日(金)文化の日、石巻文化センターでは、展示室が無料開放されました。これは、開館記念日(11月1日)と文化の日を記念して、毎年行なわれているものです。

ちよつと、「特別展 毛利コレクション展 あかりと火のくらし」が開催されていて、朝から普段より多い観覧者でにぎわいました。



訪れた人は、担当学芸員からの説明を聞きながら展示資料を興味深く見っていました。なお、この毛利コレクション展は、12月10日(日)まで開催されます。